

授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	鎌ヶ谷市立五本松学小学校
-----	----------	-----	--------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 書く項目での無解答率が高いことから、複数の情報を関連付けた文章が書けるようになることや、あきらめずに最後まで取り組める児童を育成するための授業改善や工夫が必要である。
- 全国平均正答率と比較すると、国語、算数ともに学力は高い水準であるが、自分の力で問題内容を解釈して、答えを導き出すことが難しい児童への支援が課題である。

2. 取組のポイント（仮説）

- 書く活動において、集めた知識や情報を適切に活用させることで、書くことだけでなく、読むことにも意欲が表れ、自分の思いを豊かに表現できる児童が育つであろう。

3. 具体的な実践

- 全国学力・学習状況調査の「書くこと」の答案を分析し、自校の課題を把握する。
- 学習の把握や目的意識・相手意識をもてる単元の学習計画を提示する。
- 学校図書館との連携を図り、並行読書や全校に児童の作品を広める活動やICTを活用した授業をつくる。
- 朝学習での語彙やことば集めのワーク、短作文学習を習慣化し知識の定着化を図る。
- 自分の思いを豊かに表現できるよう、授業内でのグループ発表を取り入れる。
- 振り返りシートを活用し、本時の達成感や次時への意欲付けをする。

4. 成果

- 学習中に振り返りの時間を設けることで、1時間ごとの学習に対する取り組み方を考えたり、次時の学習に対する自己目標を定めたりすることができた。
- 「SKYMENU cloud」のポジショニング機能や「Canva」、「Google Jamboard」などのICT活用の授業を行ったことで、理解が深まり児童の思考表現の幅を広げることができた。
- 単元の中で並行読書を行うなど、学校図書館の活用を全学年で取り入れたことで、本を身近に読む環境が整い、児童の学習表現の幅が広がった。

◆担当指導主事から（東葛飾教育事務所 指導主事 木村 尚史）

- 児童が自分の思いを表現する力を育成するために、全校体制で国語科の授業づくりに意欲的に取り組んだ。研究授業では、随所に様々な工夫が見られ、特に振り返りを丁寧に行うことを通して、主体的に学習に取り組む児童を育成することにつながった。また、学校図書館の効果的な活用によって、読書への興味関心が向上したり、多様な情報を扱う能力が高まったりするといった成果が見られた。